

熊本地震発生から 10 日が経ちました。八期仲間からの便り（情報）が届いています。 4 月 23 日

○早いもので(枕ことばになってしまいました)4 月もそろそろ・・の頃となりましたが八期の元気組の皆さんご健勝のこととおもいます。

それにしても今回の地震はびっくりしましたね。まさか熊本に地震とは思いませんでした。阿蘇の大噴火か白川の洪水なら記憶にありますが教訓通り大災害は忘れた頃にやってくるのですね。

益城といえば 5 組の四元君のとても長い住所を思い出しました。年賀状を書くとき他の地区は市町村合併で住所がシンプルになったところが多いのに「オヤ！変わらなかったのかな」と思いながら書いたのを思い出しました。

電話口に出た彼は思いのほか元気な声で「やられたよ！もう 5 日避難所暮らしよ！」と話してくれました。

4 組の上田平さんは、こちらでも元気な声で「毎晩、寝室は車の中ですよ」と嘆いてました。

いずれも体験がないので本当の辛さはわかりませんが「みんなの励ましの電話がいちばんうれしいよ」と、これが本音なのだろうと思うことでした。親しい人はひまな時でもひと声かけてあげたらきっと喜ぶと思います。

上田平さんが [090-6770-8419](tel:090-6770-8419) 四元くんが 0900-1515-8465 です。谷川くんはさほどひどくなかったようでした。5 組の松元英雄くんは車にはねられて重症で入院中と親友の南郷善ちゃんからの情報です。

ところで明るい話をひとつ。

秋 11 月、開催予定の『喜寿八期の集い』の参加者がじりじりと増加中で今日現在 69 名(宿泊 67 名)バスツアー参加者 50 名・男女比、市内県外比ともに半々という数字になりました。

○熊本地震ではフラの熊本教室のリーダーの家は全壊でお友達の所も余震の度に何処そこがひび割れて崩れるそうです 体も車酔い見たいでふらつくそうで心配です私はやっと 29 日退院です～お世話になりました m(\_\_)m

○あれだけの甚大な災害になると だれかしか 知っている人 関係者がいるものなのですね。それにしても たいへんなことです。1 日も早くといっても復旧には長い年月がかかるでしょう簡単に慰めの言葉もありません。

○日付: 2016 年 4 月 22 日金曜日

件名: **Re:**私は倒壊寸前に追い込まれた宇土市役所の直ぐ近くの 3 号線で同時に巻き込まれました。

To: [kjoishi3@gmail.com](mailto:kjoishi3@gmail.com)

半世紀以上の運転歴も全国走り回った経験も何の役にも立ちませんでした。

一応左側車線の中央付近に止めるのが精一杯でした。

皆固まってしまって全く動けなくなっていました。

私は鹿児島へ帰らねばならなかったの走り続けねばならず 2 1 9 号線では落石も食って恐怖の孤独な走りでしたが一応なんとか無事に帰り着きました。

大自然の猛威の前には手も足も出ない感じでした。

八代あたりでは広い処には避難している車が一杯いました。

食らった地震の凄さから考えて、この人達はどうなるのだろうかかと心配でした。

私は津波でこの十年がかりで育て上げた実験車を失ってはならないので、データの残る土砂崩れで埋まる方を選んだのでした。

初めて命の危険にさらされながらの長時間の走りでしたが、自分の命より実験車のことを第一に考えたのは、今考えると、ちょっと嬉しい気分です。

でも災害に巻き込まれた八期の皆さんのことを思うと、実際に真っ只中に居ただけに大変さが他人事で無いので、それでいて何もしてあげられないことで申し訳ない気持ちで一杯です。先ずなんとか元気で乗り切って行かれることを心から祈っております。

満山

○私は倒壊寸前に追い込まれた宇土市役所の直ぐ近くの3号線で同時に巻き込まれました…」読ませていただきました。

九死に一生の経験だと思います。あの時、ああだったら 死んでいたかもしれない。いや、間違いなく死んでいたという経験は私もあります。遠い昔、一緒に並んで歩いて友人がトラックにはねられて即死しました。私はかすり傷1つなく無事でした。人間の生死は、まさに紙一重、ご無事であったのは、日頃の行いが良かったからと、感謝するしかないと思います。被災された方々に運が悪かったとはいいいませんが、生きてると良いことも悪いこともいろいろなことがあるものだと思います。満山さん、ついでに人生を大切に、これからも生きていきましょう。これからもいいことがありますよ！

西山和宏

○大石さんがメールを廻して下さったわけですね。すぐ返礼のメールを入れておきます。まだ私は運転がぎこちないままです。219号線の落石の恐怖と直後に来るかも知れない崖崩れの恐怖感が神経のどこかを支配してるように感じます。何度も大きな余震を食った為かめまいがよくおきます。避難してる人達はもっとひどいだろうと思ってます。本当にお気の毒です。なのに何も出来ないのが残念で仕方ありません。満山

○満山様            こんばんは

大石さんから 貴方の今回 熊本地震 遭遇のメール転送されてきました。

大変 怖かったことでしょう。言葉にいい表すことができないような体験されたようですね。

トラウマにならぬよう 注意してください。

今回の地震 余震続いて 収束 何時になるのか ぜんぜん 見通しのつかない状況にあり亡くなった方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々に対し お見舞い申し上げたい気分です。

家屋倒壊も 度重なる震度 6-7 で倒壊していく現状をテレビで見っていますが 高齢者の方々の今後の生活がどうなるのか 不安となっておられることでしょう。同世代の私として もし 同じ境遇におかれたと考えると ぜんぜん どんなにして行ったらよいか 想像出来かねておる次第です。

日本に住んでいる限り 何時 地震に遭遇するか？わからないような状況にあります。

平時の時に 備えを考え、いかに減災に努めるか 勉強せねばならぬと改めて思った次第です。

ご連絡 読ませていただき ありがとうございます。11月の八期会喜寿の集いに参加する予定ですので その折にでも お聞かせください。よろしく お願いします。

木場 祥雄

○メール2通受信しました。

今回の満山くんの熊本地震の遭遇や西山くんの体験など聞くと76年間生きてきた八期生の生き残りの我々もほんとは生かされてきたのだなと強く感じます。私もその昔、北九州の工場の構内で外にはみ出るほどの鋼材を積んだ大型トラックがバックしてきてアワヤという経験をしたことがあります。

しばらくは夢に出てくるほどでした。詳しいことはまたエッセイにでもしたいと思っています。

くもとたつお            2016年4月23日

○ 地震 熊本大変です。南阿蘇のあたり復旧に時間がかかりそうですね。

熊本在住の方々 少しでも早くいつもの生活に戻られることを祈るのみです。

八期パーティ 賑わいそうで嬉しいですね。 これもお世話役の皆様のおかげです。感謝です。

取り急ぎお礼まで    長崎 諫早 森永